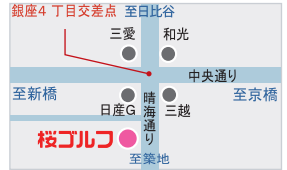


株式会社 桜ゴルフ
 東京都中央区銀座5-9-1 銀座コティビル3階
 (銀座4丁目交差点より1分)

【お問い合わせは】

0120-83-5021
 本社営業部 03-3572-8511
 伊勢丹新宿店 03-3358-9181
<https://www.sakuragolf.co.jp>



関東圏平均相場の上昇基調が続いています。8月は月間0.3%の値上がりとなり、年初比は+6.8%まで上伸しました。年初から8カ月続伸し値上がり基調を保っていますが、月間ベースでは今年最も低い伸びとなりました。

8月は夏季休暇、猛暑などの季節要因もあって、注文数は7月に比べ16%減少しましたが、売りに対する買い倍率は1.3倍と買いが先行し、6、7月の実績(1.1倍)を上回りました。

活発な価格帯は総額300万、500万円未満で、中堅上位と準名門にまで手が届くと

**8月相場は値上がり基調
 続くも伸び鈍化**



草分けとしての使命をー
 佐川 八重子

24年8月の価格帯別相場推移 (名変諸費用含む価格帯、単位：%)

価格帯	1~7月	8月						年初比
		1週	2週	3週	4週	5週	月間	
1000万円以上	6.8	0.5	▲0.2	0.0	▲0.1	▲0.2	0.0	6.8
500万円以上	5.9	0.1	▲0.1	0.0	▲0.2	▲0.2	▲0.4	5.5
300万円以上	10.2	0.9	0.2	0.0	0.6	0.2	2.0	12.3
150万円以上	5.2	0.5	▲0.1	0.0	0.6	▲0.2	0.9	6.1
70万円以上	3.7	0.3	0.0	0.0	1.1	0.4	1.8	5.6
70万円未満	5.2	0.6	▲0.2	0.0	▲0.2	0.2	0.5	5.7
平均	6.5	0.4	0.1	0.0	0.1	▲0.1	0.3	6.8

関東圏平均相場 134.9万円(8月5週 / 対象515コース) 桜ゴルフ総研調べ

～24年8月相場のポイント～

- 月間+0.3%と8カ月続伸、上昇率は今年最も低い
- 夏季休暇・猛暑で注文数減少も買い先行を維持
- 300～500万円未満・70～150万円未満のボリュームゾーンの入会が市場を支える
- 株価乱高下で法人の高額コースの買いが様子見に
- 秋以降、保有コース見直しによる処分増で調整局面も

～保有コース数ランキングのポイント～

- 民事再生法施行後、四半世紀を経て上位勢力様変わり
- 近年はアコーディアGと平和・PGMが不動のトップ2 かつての専業大手等を傘下に収めて急速に拡大
 ▽日東興業、スポーツ振興、OGM等→アコーディアG
 ▽日本ゴルフ振興、地産、大洋緑化等→平和PGM
- 老舗の市川G、高級志向の太平洋が着実に進展
- 経営環境・経営方針の変化で保有数増減の可能性も

秋以降は新年度から年会費を値上げするコースなどの処分が膨らむとみられ、相場が調整局面を迎える可能性があります。

そのような状況の中、8月上旬に発生した株価の乱高下、特に法人では高額コースの買いが様子見になり、総額500万円以上の価格帯がマイナスに転じました。

ここから、法人や個人のゆとり層の人気を集めています。次いで70～150万円未満が手頃な価格帯で健闘しています。この価格帯には関東圏で110銘柄が存在し、これらのボリュームゾーンが相場の下支えをしているといっても過言ではないでしょう。

他の上位グループも、若干の変動はあるものの、ここ数年で概ね固定化してきました。ゴルフ場運営の老舗で市川

2000年の民事再生法の施行から凡そ四半世紀。ゴルフ企業グループの国内保有コース数ランキングが大幅に様変わりしています。当時、上位に名を連ねていた専業大手の多くが法的整理によって外資の傘下に入り、姿を消しました。

近年では、外資のゴールドマン・サックスから転じたアコーディア・ゴルフと、同じくロースターから転じた平和・PGMグループが不動のトップ2を占めています。

**ゴルフ企業の勢力図様変わり
 近年は上位が固定化**

企業グループ保有コース数ランキング推移(国内) (一季出版調査より)

2000年			2010年			2024年		
順位	企業グループ名	コース数	順位	企業グループ名	コース数	順位	企業グループ名	コース数
1	西武グループ	42	1	アコーディアG(ゴールドマン)	131	1	アコーディアG(フォートレス)	172
2	日東興業	30	2	PGMグループ(ロースター)	123	2	PGMグループ(平和)	147
2	スポーツ振興	30	3	OGM(オリックス)	38	3	市川ゴルフ興業	30
4	東急グループ	29	4	市川造園土木	29	4	東急グループ	21
5	日本ゴルフ振興	28	5	西武グループ	28	5	西武グループ	20
6	富士Cグループ	22	5	東急グループ	28	6	太平洋Cグループ(マルバン)	19
7	緑営	18	7	ユニマツグループ	22	7	シャトレーゼ	18
8	地産	16	8	太平洋Cグループ	17	7	ユニマツ	18
9	大洋緑化	14	9	リゾートトラスト	12	9	リソルグループ	16
10	太平洋Cグループ	13	10	房総・明智グループ	10	10	チェリーゴルフ	15

造園から転じた市川G興業と太平洋Cグループは着実に保有数を増やし上位に進展。太平洋Cグループは14年にマルバンの経営に移行し、高級志向の積極的な設備投資で注目されます。

リソルグループは直近の2年で保有数を5コース増やし順位をトップ10内に上げています。

また、上位にはいるものの、経営改革の一環で東急・西武グループは保有数が減少しました。

今後も、経営環境や経営方針の変化などにより保有コース数が大幅に変動する可能性もあり、注目していきたいところです。